



へんしゅうぶれんらくさき*
編集部連絡先

〒257-0025 秦野市落合500

TEL 0463(81)1429 FAX 0463(83)4118

ホームページ

http://www.hadano-sh.pen-kanagawa.ed.jp/



がっこう
学校だより

○今月号は「地域との交流」に関する内容でお送りいたします♪

「地域に発信しよう！地域とつながろう！」 サポート・スタディグループリーダー 米山 心平
 今から3年前、当時の学校運営協議会の委員のお一人から伺ったお話です。当時、創立60周年を迎えていたにもかかわらず、秦野養護学校が「どんな学校」で「どんな子ども」が学んでいるのか、実はあまり知られておらず、地域のみなさんにとって「敷居が高い」存在であることが分かりました。「このままではいけない！」その頃、ちょうどE高等部の農園芸班の指導をお願いできる方を探していたところ、地域の農業委員の方をご紹介します。その方のお声かけで、今では8名が集まり、農業指導講師として定期的にご指導いただいています。東地区の広報誌では、農業指導講師のみなさんの活動が紹介されました。その農業指導講師のお一人から、本町にあるカフェをご紹介します。店頭で児童生徒の作品や作業班の製品を展示する「発信」の場をお借りすることができました。「よし！もっと発信しなくては！」地域のみなさんの力に頼るだけでなく、お役に立ちたいと、お隣の神奈川病院の敷地や、近隣の東公民館、末広ふれあいセンターの除草作業に携わらせていただきました（東公民館のホームページで、その様子が紹介されました）。またピースキャンドルナイトへの参加、エコキャップの取り組みなど、子どもたちが地域に貢献する場が少しずつ増えてきました。先日の「秦野市民の日」では、本校のブースにたくさんの方が訪れ、「どんな学校なのですか？」などと話しかけてくださり、たっぷり用意した児童生徒が育てたひまわりの種もあつという間になくなりました。本校への関心の高まりを肌で感じました。今後もどんどん発信し、地域のみなさんとつながっていきたいです！

D



D弘済では、今年度から「秦野市公園等美化ボランティア」の活動を始めました。これは、秦野市と契約を結んで公園の管理をおこなうことです。管理する公園は、弘済学園の近くにある「秦野市立くまのどう児童遊園地」という公園です。

この活動は、身近な自然に親しむことや地域との交流を目的としています。児童生徒は個別学習やグループ学習の時間に公園へ行き、花壇にお花を植えたり水をやったり、雑草を抜いたり、落ち葉を集めたりしています。

公園に向かう途中、地域の方と出会うと「こんにちは」とあいさつを交わしたり、公園を利用される地域の方から、「(おそうじしてくれて)ありがとうございます。」とお礼の言葉をいただいたりしています。

これからも、身近なところから交流がおこなわれることを期待しています。





11月5日(土)に、末広小学校で「みんなのすえひろまつり」が開かれ、秦野養護学校末広校舎も、体育館内に展示・体験コーナーを設けました。学校紹介の掲示に加え、手話(サイン)コミュニケーションと、フライングディスクの体験コーナーは大盛況で、たくさんのお客さんが来てくれました。何度も列に並んでフライングディスクに挑戦し、投げ方を工夫しながら上達する子どもや、手話でのあいさつを覚え、「今度養護学校のお友だちに挨拶してみてね」の言葉に、「やってみる!」と元気に答えてくれた小学生もいました。体験してくれたお客さんには、お土産として、小・中学部の子どもたちが協力して作った「しおり」を配りました。参加者は、「わあ、すごい!」「どれにしようかな」と、楽しみながら選んでくれていました。

F末広のコーナーのほかにも、末広小学校の児童の発表や、ラッパ鼓隊の演奏、秦野曾屋高校ダンス部の発表に、市内の福祉事業所の販売もあり、楽しい一日となりました。地域の方々に向けて秦野養護学校を知っていただく良い機会にもなりました。

今回のイベントは、土曜日の開催だったため、児童生徒の参加は自由でしたが、F末広の全児童生徒にもプログラムを配付し、家族で参加していただいた方もいました。ご参加いただいたみなさんが、ともに楽しめる場であったことをうれしく思いました。



<小学部>

小学部では、東小学校と作品交流をおこなっています。1学期は、秦野養護学校の作品(アサガオとジュース)を東小学校で展示していただきました。作品を見た東小学校の子どもたちからたくさんの感想をいただきました。2学期は東小学校の作品(みのむし)を秦野養護学校で展示しました。作品を見た子どもたちは、よく作品を見ながら「すごい、かわいい」と言ったり笑顔を見せたりしていました。今後も、地域の小学校とさまざまな活動ができるとうれしいです。

<中・高等部>

10月24日の体育の授業で、神奈川県障害がい者スポーツ指導者協議会の秦野支部の方がボッチャ教室を開いてくださいました。授業開始前に、協議会の方々がボールを手のひらで転がしたり捏ねたりしていたので「何をしてらっしゃるんですか?」と質問すると、「ボールが丸くなってよく転がるようにしているんですよ」と教えてくださいました。1個ずつボールを渡してもらい、教員と一緒に生徒たちも手のひらで転がしたり捏ねたりと丸いボールになるように準備をがんばりました。その後は、赤青2チームに分かれて、ボッチャのゲームスタート!ルールや狙うコースを教えていただいたり、応援していただいたりしながらボッチャを楽しみました。最後にお礼のプレゼント贈呈をおこない、クラスで育てたヘチマを使った「ヘチマたわし」と「ヘチマライト」を手渡し、喜んでいただくことができました。今後も、みんなで楽しみながらボッチャに取り組んでいきます!